

## 一般検査解説

### 1.はじめに

本年度の測定項目は尿定性（蛋白・糖・潜血）2濃度、便中ヒトヘモグロビン2濃度、フォトサーベイについて実施しました。

### 2.評価方法について

尿定性検査項目について機器判定 53 施設及び目視判定 9 施設は同様の評価としました。蛋白・糖・潜血の評価は各試料目標設定濃度〈尿 A：蛋白 100 mg/dl、糖 100mg/dl 潜血 0.75mg/dl〉〈尿 B：蛋白 30mg/dl、糖 250mg/dl および 300mg/dl 潜血 0.15mg/dl〉を評価 A とし、上下 1 ランク差を評価 B、それ以上を評価 C としました。便ヒトヘモグロビン定性は定量値の平均値が便 A：347.7ng/ml、便 B：459.3ng/ml のため便 A 便 B 共に+（陽性）を評価 A としました。定量評価において評価は無としました。

### 3 結果

#### 1) 尿定性検査

##### ①蛋白

試料目標設定濃度は尿 A：100 mg/dl、尿 B：30mg/dl ですので、この濃度が評価 A となります。尿 A においては 100mg/dl は 60 施設で 97%でした。30mg/dl は 2 施設で目視判定と機器判定でした。尿 B において 30mg/dl は 60 施設で 97%、15mg/dl は 2 施設で目視判定と機器判定でした。この調査では尿 AB において、3 施設を除く 95%の施設で試験紙による結果（2+）100mg/dl および（1+）30mg/dl は機器判定、目視判定共に同じ結果が報告され正しく測定されている事が確認できました。

##### ②糖

試料目標設定濃度は尿 A：100mg/dl、尿 B：250mg/dl および 300mg/dl ですので、この濃度が評価 A となります。尿 A においては 100mg/dl は 60 施設で 97%、250mg/dl は 2 施設で機器判定でした。尿 B は 250mg/dl および 300mg/d は 60 施設で 97%、500mg/dl は 3 施設で機器判定した。この調査では尿 AB において、3 施設を除く 95%の施設で試験紙による結果（1+）100mg/dl、（2+）250mg/dl および 300mg/dl は機器判定、目視判定共に同じ結果が報告され正しく測定されている事が確認できました。

##### ③潜血

試料目標設定濃度は尿 A：0.75mg/dl、尿 B：0.15mg/dl ですので、この濃度が評価 A となります。尿 A においては 0.75mg/dl は 60 施設で 97%、0.15mg/dl は 2 施設で機器判定と目視判定でした。

尿 B 0.15mg/dl は 55 施設で 88%、0.06mg/dl 機器判定 3 施設、目視判定 2 施設で、0.75mg/dl は 2 施設で機器判定でした。この調査では尿 AB において、8 施設を除く 87%の施設で試験紙による結果(3+) 0.75mg/dl および (2+) 0.15mg/dl の濃度は機器判定、目視判定共に同じ結果が報告され正しく測定されている事が確認できました。

## 2) 便ヒトヘモグロビン定性・定量

### ①定性結果

便ヒトヘモグロビン定性は定量の平均値が便 A347.7ng/ml、便 B459.3ng/ml のため便 A、便 B 共に陽性を評価 A としました。すべての施設が評価 A でした。

### ②定量結果

定量法は各施設の平均値を求めカットオフ値より判定しました。便 A、便 B について全施設が陽性でした。採便時の注意点を記載していますが、便 A における各施設の SD は 3.0~48.6、便 B における各施設の SD は 4.4~47.4 となりました。昨年の陽性検体の SD より便 A 便 B ともに SD が大きくなりました。

## 4、まとめ

蛋白定性について、尿 AB は 97% の施設で正しく判定されていました。糖定性については、尿 AB は 95% の施設が正しく判定されていました。尿潜血定性について、尿 AB は 87% の施設で正しく判定されていました。結果が C 判定となる施設はなく良好な結果が得られていました。

便定性は 100% の施設で評価 A となりました。